

# ごみを減らそう！

## 環境月間

# 3Rでゴミ減量

皆さんは、3Rを知っていますか。

- 減らす(Reduce) // リデュース
- 再利用(Reuse) // リユース
- 再資源化(Recycle) // リサイクル

の頭文字をとって「3R」です。ごみを減らすために必要なこと。それがこの3つのRにつながっています。

この3つを実行することが、ごみの減量や、資源を有効利用することに役立ちます。

平成19年度の町のごみ処理量は、可燃ごみや不燃ごみを合わせて約7,218tで、町民1人あたり1日802gのごみを出していることになりました。従来からごみの収集、焼却処分には、たくさんの方の経費がかかっています。ごみの排出量が増えれば増えるほど、当然のことながら経費がかさみます。ごみが少なくなれば処理費用を節約することができ、その分の費用を他の事業へ活用できます。では、ごみを減らすにはどうしたらいいのでしょうか。



# R reuse

## リユース

ごみとして捨てる前に、ほかに使い道はありませんか。修理すれば、まだまだ使えるものもあります。今あるものができる限り利用する、これは、ものにも資源にもやさしい大切な行動です。

フリーマーケットやリサイクルショップなどを活用するなど、いろいろな使い道を検討しましょう。



## レジ袋の消費量は？

日本でレジ袋がどのくらい使われているか。日本では、年間約30万トンとされています。枚数でいうと約300億枚、国民1人あたり年間約300枚となり、1週間で5枚ほど使っていることとなります。レジ袋のほとんどは石油を原料としているため、300億枚のレジ袋を作るために毎年約60万キロリットル(大型タンカー2隻分)の石油を消費しています。



# R reduce

## リデュース

余分なものを買ったり、もらったりしていませんか。

買い物をするときは、買い物袋を持っていくなどして、レジ袋をもらわないようにしましょう。また、余

# R recycle

## リサイクル

分別できるものを可燃ごみに出していませんか。空き缶、空きびん、ペットボトル、白色トレイ、プラスチック製容器包装、紙パックは必ず分別しましょう。

新聞、雑誌、段ボールは集団回収を利用しましょう。再生品をすすんで購入、利用しましょう。



## ごみ出しのルールとマナーを守りましょう！

分別が正しくされていないと、回収の時間が遅れたり、回収ができなくなります。また、決められた日の決められた時間以外にごみを出すと、環境美化が損なわれたり、無分別による排出ごみが多くなるなど、処理施設への負担が大きくなります。ごみを出す時は、必ずルールとマナーを守りましょう。

可燃ごみとプラごみは、町指定ごみ袋を使用しましょう。

タイヤ、除湿機、スプリング入りマットレスは、有料粗大ごみです。有料粗大ごみシールを貼って指定の場所に出しましょう。(シールは1枚500円です。マットレスには2枚シールを貼ってください。)

エアコン、テレビ、洗濯機、冷蔵庫、冷凍庫は、町では回収していません。家電販売店に引き取ってもらつか、ごみ収集業者に相談、もしくは個人で家電リサイクル券を郵便局で購入添付し、指定引取場所に搬入してください。



町指定ごみ袋の価格には、ごみ収集や焼却処理やリサイクル処理など、ごみの処理に係る経費の一部が袋の販売価格に上乗せし、ごみ処理の有料化を行っています。この有料化は全国的に行われており、県内においても8市町で実施されています。町では、ごみ処理にかかる皆さんの経費の重さを、町民一人ひとりに実感してもらい、ごみに対する関心や意識並びにごみ減量化への意欲を高め、自ら排出するごみに責任を持つ社会の実現を目指します。ご理解とご協力をお願いします。



## ごみ袋の料金について

### ごみの有料化について

## 5月ならもの思いかせ...

ごみとして捨てる予定の家具類・自転車・ペーパーベッドなど、周りに必要としている人がいるかもしれません。一度確認しましょう。



## 6月は環境月間です。家庭でのゴミ減量に取り組みましょう！

